

カリキュラム・ポリシー

観光学部では、「人材養成等教育研究に係る目的」に掲げるグローバル時代の観光産業と地域活性化に貢献できる人材養成の目的を達成するために、グローバル時代における観光について体系的に学び、幅広い観点から観光の意義や役割、現状と課題を認識し理解できる能力を育成するとともに、情報の収集・分析・表現力の養成、国際共通語である英語運用力の向上と異文化に対する理解の喚起と交流の実践を目指したカリキュラムを編成しています。

カリキュラムの特徴

1 多様なニーズ対応した科目編成と「科目群」

観光学部観光学科のカリキュラムは、教養豊かな幅広い知識をもち、基礎学力はもちろんのこと、高度な専門能力の修得を目指し、「ユニバーシティ・スタンダード（US）科目」と「学科科目」の2種類から構成されています。

「学科科目」のすべての科目は「100番台科目」「200番台科目」「300番台科目」「400番台科目」と順次展開する科目のいずれかに組み込まれています。これにより科目の履修は科目番号と開講期に基づいて行うこととなります。

2 学士号の取得と「履修条件」

観光学科のカリキュラムは、観光が有する多様な特徴および学生が自らの夢を実現するために必要となる科目を効率的かつ効果的に学ぶことができるように、また1年間の海外留学を含めて4年間の在籍で卒業できるように設計されています。そして、観光学部で取得できる「学士（観光学）」では、観光学に関するさまざまな知識を修得するだけでなく、情報収集および分析能力、さらに高度の英語運用能力を身につけることが求められています。

このため、観光学部の科目にはいくつかの「必修」「必修選択」とされる科目があるほか、先行履修条件（プリ・リクイジット）がついた科目も設定されています。こうした条件に従って学修を進めていくことにより「学士（観光学）」として必要な能力を満たすことができるようになっています。

卒業要件

観光学部では、以下に示す11の卒業要件を定めています。これは、学生が卒業時にふさわしい学士力として身につけていなければならない要件であり、また十分なる学士力を身につけた学生を卒業生として社会へ送り出すことが大学の責務であることから策定したものです。

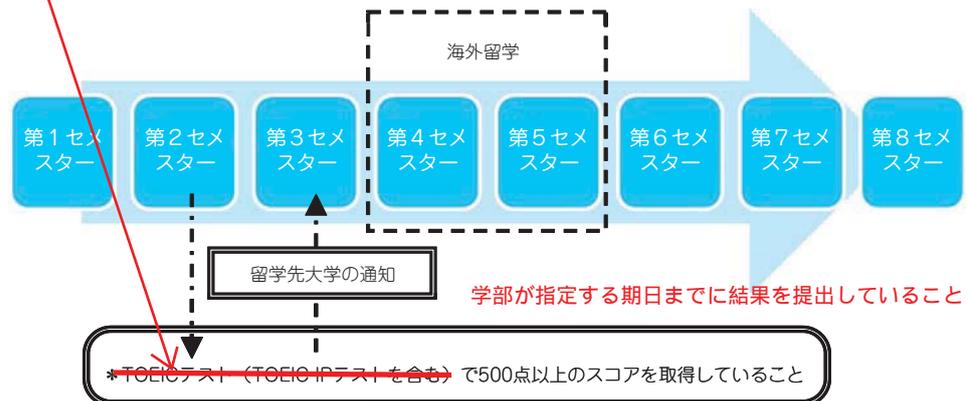
- ① 修業年限を満たすこと
- ② 全科目の修得単位の合計が124単位以上あること
- ③ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ④ ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修の7単位および「二年次セミナー201」2単位を修得していること
- ⑤ ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群4単位以上、社会科学科目群4単位以上（「経済学（国際経済を含む）」2単位は必修）、自然科学科目群4単位以上（「データ処理」2単位・「統計学入門」2単位は必修）、学際科目群4単位以上（「国際研究B」2単位・「国際研究C」2単位は必修）、言語表現科目群からは「ELF201～ELF301」で12単位を修得していること
- ⑥ 学科科目の必修科目26単位を修得していること
- ⑦ 2年次必修選択科目「観光社会学」「国際観光論」「観光経営学」「観光・ホスピタリティ事業論」「観光政策・行政論」「デスティネーション・マーケティング」のうちから1科目4単位以上を修得していること
- ⑧ 3年次必修選択科目「観光開発論」「観光行動論」「観光文化論」「旅行事業論」「宿泊事業論」「航空事業論」のうちから1科目4単位以上を修得していること
- ⑨ 自由選択科目（玉川教育・FYE科目群の中の選択科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・自学科選択科目・他学部他学科科目・他大学との単位互換科目）として29単位以上修得していること
- ⑩ 留学条件に掲げる1年間の海外留学を経験していること
- ⑪ 上記要件のすべてを満たし、~~在学中にTOEICテスト（TOEICIPテストを含む）~~で700点以上のスコアを収めていること

3月卒業は1月末、9月卒業は7月末の学部が指定する期日までに結果を提出していること

入学後に受験したTOEIC
公開テストおよび学内
実施のTOEIC Pテスト

留学条件

第2 Semester（1年次）終了時において留学条件を満たしているか否かのチェックが行われます。留学条件は、オーストラリア留学に必要な英語運用力を備えているか否かの観点から定められています。具体的には「~~TOEICテスト（TOEICIPテストを含む）~~で500点以上のスコアを取得していること」です。留学条件を満たした者は全員、ビクトリア州にあるディキンソン大学、スウィンバーン工科大学、ピクトリア大学の3大学の中から、玉川大学が決定、通知する大学に留学することになります。



注) 第2 Semesterで留学条件を満たせなかった場合は、留学条件を満たした翌年度から留学することになります。

卒業までの単位配分

観光学部では、卒業までにユニバーシティ・スタンダード科目、自学科科目の100番台科目、200番台科目、300番台科目、400番台科目および自由選択科目からそれぞれ必要となる単位数を満たすことが必要となります。

科目群		必要単位	履修条件、および備考
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群	9単位	必修6科目7単位および「二年次セミナー201」2単位を修得すること
	人文科学科目群	4単位	言語表現科目群「ELF201～ELF301」の12単位を修得すること。人文科学科目群から4単位、社会科学科目群から4単位、自然科学科目群から4単位、学際科目群から4単位、計16単位以上を修得すること (注1) 言語表現科目群の「英語Ⅰ～Ⅲ」「英語コミュニケーション」の履修は不可
	社会科学科目群	4単位	
	自然科学科目群	4単位	
	学際科目群	4単位	
	言語表現科目群	12単位	
学科科目	100番台科目	12単位	全科目必修
	200番台科目	46単位	200番台・300番台科目（必修12単位・2年次必修選択4単位・3年次必修選択4単位・留学振替単位）および400番台科目（必修2単位）の中から46単位以上修得すること
	300番台科目		
	400番台科目		
自由選択	29単位以上	玉川の教育・FYE科目群の中の選択科目ユニバーシティ・スタンダード科目の中で必要単位数を超えた科目・自学科選択科目・他学部他学科科目・他大学との単位互換科目等29単位以上修得していること。	
卒業に必要な単位数	124単位以上		
卒業に必要なGPA数値	累計GPA2.00以上	卒業に必要な124単位を満たしていても、累積GPAが2.00未満の場合は、最短1セメスター卒業延期となる	
卒業に必要なTOEICスコア	700点以上	TOEICまたはTOEIC IP（大学在学期間中）	

注意と警告について

履修にあたっては、各セメスターで要求される履修条件や学修継続条件を満たさなければなりません。セメスター毎に履修条件や学修継続条件が設定されているのは、皆さんの学修が適切なクオリティ（質）であることを維持するためと学士課程の修了に向けた適切な進捗を担保するためです。したがって、履修条件や学修継続条件が満たされない場合には、全学共通の「警告」や観光学部で設定している「注意」が出ます。

なお、履修登録の際に疑問等がある学生には、クラス担任、教務主任・担当によるアカデミック・アドヴァイスが用意されています。

アカデミック・アドヴァイス、学修継続条件の抵触に関しては、以下の図表を参考にしてください。

1 履修条件（注意）および学修継続条件（警告）

セメスター	「注意」の対象者条件		「警告」の対象者
	累積修得単位数	累積GPA	
第1	15	2.20	学修継続条件のページ(p.24)を参照
第2	32		
第3	47		
第4	62		
第5	78		
第6	93		
第7	109		
第8	卒業不可能な学生		

「注意」のみ
別表に変更

(注1) 卒業延期者は、卒業要件を満たし124単位以上を修得したうえで、累積GPAが2.00以上となった場合に卒業可となります。

(注2) 留学中の学生は、「注意」「アカデミック・アドヴァイス」の対象となりません。

2 アカデミック・アドヴァイス、注意および警告について

	担当教員	内容
アカデミック・アドヴァイス	担任 教務担当教員 教務主任	①履修相談全般（履修方法、履修科目について） ②履修計画 ③履修状況の確認・注意（セメスター修得単位数、累積単位数、累積GPA数値等） ④履修取消 ⑤学修方法に関するアドヴァイス
注意	担任 教務担当教員 教務主任	各セメスターで累積修得単位数が規定の単位数を下回った場合、または修得科目の累積GPAが2.20未満の場合にも「注意」を行う。また、留学条件を充足できない場合、または卒業不可の場合にも「注意」を行う（上記1の履修条件（注意）および学修継続条件（警告）の表を参照）。
警告	担任 教務担当教員 教務主任	学修継続条件のページ（p.24）を参照

別表

年次	学期	a. セメスター終了時の累積修得単位数が下記の単位数未満	b. 累積GPAが下記の値未満	c. 英語力判定テストの結果が下記水準に未到達
1	春	15	2.20	TOEIC® L&R 400点未満
	秋	32		TOEIC® L&R 500点未満
2	春	47		—
	秋	62		TOEIC® L&R 500点未満
3	春	78		—
	秋	93		TOEIC® L&R 600点未満
4	春	109		TOEIC® L&R 650点未満
	秋	当該セメスターで卒業が不可能な学生		

観光学部が養成を目指す3つの人材像と履修モデル

観光学部では、人材育成目標およびカリキュラム方針に従って、以下の3つの履修モデルを設定しています。3つの履修モデルを参考にして、第3 Semester以降から履修が可能な必修選択科目および選択科目の中からどういう科目を選択すべきかをよく考え、自らの夢を実現するために必要となる科目を履修し、勉学に邁進してください。

■履修モデル表

観光学部観光学科履修モデル			
	A. 観光ビジネスの発展に寄与できる人材（注1）	B. 観光を通じて地域の活性化に貢献できる人材	C. 観光を通じて国際交流の進展に寄与する人材
200番台科目	◆観光経営学④ ◆観光・ホスピタリティ事業論④ ◆デスティネーション・マーケティング④	◆観光社会学④ ◆観光・ホスピタリティ事業論④ ◆観光政策・行政論④	◆国際観光論④ ◆観光・ホスピタリティ事業論④ ◆観光政策・行政論④
300番台科目	◆旅行业論④ ◆宿泊事業論④ ◆航空事業論④ 交通事業論② 観光関連法規② ホスピタリティ・マネジメント②	◆観光開発論④ ◆観光行動論④ 地域文化論②	◆観光行動論④ ◆観光文化論④ 観光文献講読②
400番台科目	サービス・マーケティング② イベント・ツーリズム② エコ・ツーリズム② 観光財務情報分析② ホスピタリティ論②	観光まちづくり関連法規② 観光経済学② アート・ツーリズム② イベント・ツーリズム② 観光情報システム②	異文化交流論② 国際協力② 観光メディア論② エコ・ツーリズム②

◆：必修選択科目 無印：選択科目 ○数字は単位数を表します

（注1）履修モデルAが養成を目指す「観光ビジネスの発展に寄与できる人材」とは、旅行业、宿泊事業、航空事業、交通事業等のいずれか一つの分野の発展に寄与できる人材を意味します。